

岩手県社会福祉大会を開催 257名、30団体、2組を表彰

11月6日に岩手県民会館で第66回

岩手県社会福祉大会を開催しました。（主催・岩手県社会福祉協議会・

岩手県共同募金会）

大会の冒頭に、物故社会福祉事業

関係者へ参加者全員による追悼の黙



その後、「命の時代」の主役」と題して、志ネットワーク代表の上甲晃氏の記念講演が行われました。大会宣言では●多様な生活課題を抱える人々に対し、良質な福祉サービスの提供とともに、本人の尊厳を守りながら適切な制度利用を支援す

とが捧げられ、式典では県内の社会福祉従事者、民生委員・児童委員、ボランティア、また、長年在宅で家族介護を続けている方々などが表彰を受けました。（257名、30団体、2組）

その後、「命の時代」の主役」と題して、志ネットワーク代表の上甲晃氏の記念講演が行われました。大会宣言では●多様な生活課題を抱える人々に対し、良質な福祉サービスの提供とともに、本人の尊厳を守りながら適切な制度利用を支援すること●災害にも備えた安心安全なコミュニティの形成を図るため、

岩手県里親大会を開催 4組の里親に県知事感謝状

岩手県里親会（高橋忠美会長）は10月6日にふれあいランド岩手で岩手県里親大会を開催しました。

式典では岩手県知事感謝状が4組の里親に贈呈され、岩手県里親会会長表彰を11組の里親が受賞しました。



ものづくり講座



手作り豆腐体验講座

ありがとうございます

昭栄建設株式会社より
富士ゼロックス岩手株式会社より

10月21日に富士ゼロックス岩手株式

会社（成田幸穂代表取締役社長）より車いす及びAEDを寄贈いただきました。この車いすとAEDは、県内21か所の福祉事業所へ贈られました。

同社では、平成20年度より車いすを寄贈し、延べ60台となります。この活動は、社員の給与から募金し、積み立てて

る体制整備を進めること●被災者や制度のはざまで立ちすくむ人びとが抱える様々な課題に対しても、医療・保健・教育・労働などの多種多様な組織、機関等とのネットワークをつくり、福祉の枠を越えたサービスや活動の展開により積極的に支援すること●災害にも備えた安心安全なコミュニティの形成を図るため、

一層推進し、住民主体による支え合いの仕組みづくりに取り組むこと●被災地の福祉サービスの復旧・復興とともに、福祉サービス事業の経営基盤の確立や人材の確保に努め、地域福祉サービスの充実に向けた取り組みを進めることを採択し、閉会しました。

10月14日にものづくり講座を開催しました。同教室は毎回内容を変えながら実施していますが、今回は木彫りの箸と箸置きを製作しました。講師にcarpentry優遊結の千葉祐生氏を迎えて、12名の参加がありました。

11月3日に料理教室「手作り豆腐體驗講座」で豆腐に挑戦

「ものづくり講座」で
木彫りの箸と箸置きを制作

10月14日にものづくり講座を開催しました。同教室は毎回内容を変えながら実施していますが、今回は木彫りの箸と箸置きを製作しました。講師にcarpentry優遊結の千葉祐生氏を迎えて、12名の参加がありました。

料理教室「手作り豆腐体验
講座」で豆腐に挑戦

していただきました。

参加者からは「学生時代を思い出しおもしろかった」「時間に追われることなく、ものづくりの面白さや奥深さを実感できた」などの感想が寄せられました。



ものづくり講座



手作り豆腐体验講座

昭栄建設株式会社より

10月15日に昭栄建設株式会社（横澤昭博代表取締役社長）より、使用済み切れ手を寄贈いただきました。

この切手は「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部（国内輸送費）として役立てる予定です。

同社では、平成20年度より車いすを寄贈し、延べ60台となります。この活動は、社員の給与から募金し、積み立てて

手 岩 ラ ン ド い あ れ ふ



アクティビティインストラクター養成セミナー

説明を受け、3班に分かれて作業を開始しました。

完成後は、全員で試食をし、併せてにぎりの選び方や豆乳の説明も受けました。参加者からは「簡単にできて美味しく楽しかった」「今日やつてみて、すごく料理が楽しくなった」などの感想が寄せられました。

説明を受けた。3班に分かれて作業を開始しました。完成後は、全員で試食をし、併せてにぎりの選び方や豆乳の説明も受けました。参加者からは「簡単にできて美味しく楽しかった」「今日やつてみて、すごく料理が楽しくなった」などの感想が寄せられました。

「アクティビティ・ケア フォーラム」開催

10月26日にアクティビティ・ケアフォーラムは、アクティビティインストラクター養成セミナーを開催しました。セミナー講師には高齢者アクティビティ開発センター代表の多田千尋さんを迎えて、48名の参加がありました。

同セミナーは、現在福祉施設で通常の介護のほか、重視されている脳オーラムは、アクティビティインストラクター養成セミナー修了者へのフォローアップを目的に行つたものです。

11月4日にさわやか交流水泳記録会を開催しました。この記録会は障がいをもつ方、高齢者、60歳以上の一般の方を対象とし、日頃の練習の成果を試すことなどを目的に開催しています。今回で17回の開催となり、45名の参加がありました。

10月27日にはアクティビティ・ケアストラクター養成セミナーを開催しました。セミナー講師には高齢者アクティビティ開発センター代表の多田千尋さんを迎えて、48名の参加がありました。

同セミナーは、現在福祉施設で通常の介護のほか、重視されている脳オーラムは、アクティビティインストラクター養成セミナー修了者へのフォローアップを目的に行つたものです。

養士会の徳田恵子氏を迎え、15名の参加がありました。

初めてに講師から豆腐作りについて説明を受け、3班に分かれて作業を開始しました。

完成後は、全員で試食をし、併せてにぎりの選び方や豆乳の説明も受けました。

11月4日にさわやか交流水泳記録会を開催しました。この記録会は障がいをもつ方、高齢者、60歳以上の一般の方を対象とし、日頃の練習の成果を試すことなどを目的に開催しています。今回で17回の開催となり、45名の参加がありました。

た。続いて各福祉事業での実践発表をいただき、講評をいただきました。

参加者にとっては様々な実践内容を聴くことができる貴重な機会となつたようでした。

「アクティビティインストラクター養成セミナー」を開催

与えるか、世代を超えてコミュニケーションを図るために有効な手段になりますか、などのお話をいただきました。

セミナー後半は笑てがみ教室主宰の佐々木幸子さんに高齢者施設でのアクティビティ・ケアについて実践発表をいただきました。

その後、牛乳パック等の廃材を用いた手作りおもちゃの作成やアクティビティ・トイを使ったチーム対抗戦を行い、おもちゃの有効性を体験しました。

「富士ゼロックス岩手端数値楽部活動の一環として取り組まれているものです。

岩手県生命保険協会より

10月23日に社団法人生命保険協会、岩手県生命保険協会より福祉車両・福祉機器(可搬型スロープ及び車いす)を寄贈いただきました。

この福祉車両及び福祉機器は県内9か所の市町村社会福祉協議会へ贈られました。

J.A共済連岩手より

11月7日に全国共済農業協同組合連合会岩手県本部業務部業務総合課の菊池信浩主幹が当会を訪れ、使用済み切手及び書き損じはがきを寄贈いただきました。

この切手及びはがきは「いわて車いすフレンズ活動の費用の一部(国内輸送費)として役立てる予定です。



福祉車両・福祉機器は市町村公社へ寄贈



富士ゼロックス(株) AED・車いす 寄贈式



J.A共済連岩手からの寄贈



社会生命保険協会・岩手県生命保険協会「福祉車両・福祉機器」寄贈